

期日現金の管理-事前設定

期日現金の管理を行う場合、

データ登録の前に事前に設定が必要な項目があります。

以下を登録後、実際のデータ登録へ移行いただきますようお願い致します。

◎自社の口座情報の登録

メニュー：[総合]-[導入処理]-[2.銀行登録]-[3.会社銀行登録]

自社の銀行口座情報を設定するメニューです。

◎会社銀行コード…達人上のみで使用されるコードなので、お客様の任意の番号をつけていただいて構いません。

◎会社銀行名…画面に表示される名前であるため、取引銀行の名前を支店名まで設定いただいた方がわかりやすいです。

◎銀行…取引のある銀行マスタコードを設定します。

◎支店…取引のある銀行支店マスタコードを設定します。

◎口座種別…「普通/当座/別段」の中から該当するものを選択します。

◎口座番号…口座番号を入力します。

◎口座名義…口座名義(半角かかけのみ)を入力します。

期日現金（入金）の管理の場合、事前設定は以上となります。

期日現金（支払）の管理で、且つ総合振込データ作成（FB データ作成）機能を使用される場合は

以下の登録もお願い致します。

◎総合振込データ作成（FB データ作成）機能を使用する場合 ※支払のみ

メニュー：[総合]-[導入処理]-[2.銀行登録]-[3.会社銀行登録]

【総振設定タブ】

期日現金（支払）の管理において、総合振込データ作成（FB データ作成）の機能を使用される場合に設定が必要なタブとなります。

ファームバンキングにアップロードできるファイルを達人で作成することが出来ますが、そのファイルの出力内容の詳細を設定します。

銀行によって設定が変わってくる為、設定の際は事前に取引銀行へ設定内容の確認をいただいた後、本メニューの登録をお願い致します。

- ◎依頼人コード…取引銀行から指定された振込依頼人コードを設定します。
- ◎レコード長/コード区分/改行コード/終端コード…取引銀行によって設定が異なりますので、銀行に確認いただき設定を行います。

【総振手数料タブ】

期日現金（支払）の管理において、総合振込データ作成（FB データ作成）の機能を使用される場合に設定が必要なタブとなります。

手数料の設定を行うタブとなり、設定を行うことで [取引先基本情報登録]メニューの[期日現金設定]タブにて「手数料を先方負担に設定する」の設定がなされている場合、期日現金（支払）の金額より手数料を自動判断し、先方負担手数料欄に手数料金額を表示します。

また、手数料を差し引いた金額を「振込金額」に表示します。

会社銀行登録

修正 登録件数 2

会社銀行コード: 0001

会社銀行名: みずほ銀行 東京営業部

カナ: ミズホノカドトウキョウエイブ

基本情報 | 電子債権割引 | 電子債務発生記録設定 | 総振設定 | 総振手数料

金額(以上)	金額(未満)	同一店	本支店	他行
0				

F5 登録
F7 削除
F11 キャンセル
F12 閉じる

会社銀行名を入力して下さい。 F1=Help